ゲリラ豪雨対応訓練(例)

進め方

1. 2025年9月11日の被害振り返り
2. 訓練目的の明確化
3. 訓練の実施
4. 全体発表
5. 訓練評価
6. 改善計画

1. 2025年9月11日 東京都大雨の経過

No.	時刻	発表元	内容
1	06:10	気象庁	東京都気象情報発表（大雨・雷・突風への警戒呼びかけ）
2	13:00頃	－	東京23区西部を中心に積乱雲が発達し、激しい雨が開始
3	13:48	気象庁	大雨注意報発表
4	14:24～15:40	気象庁	大雨警報・洪水警報を順次発表
5	14:32	気象庁	東京都竜巻注意情報 第1号発表
6	**14:36**	**気象庁**	**世田谷で1時間雨量92mm（観測史上最多）**
7	**14:45**	**気象庁・東京都**	**目黒川氾濫危険情報（警戒レベル4相当）発表**
8	**14:51**	**気象庁**	**記録的短時間大雨情報第1号（世田谷区付近 約100mm/h）**
9	**15:00**	**気象庁・東京都**	**妙正寺川氾濫危険情報発表**
10	**15:10**	**気象庁・東京都**	**野川・仙川、石神井川氾濫危険情報発表**
11	**15:20**	**気象庁**	**目黒区緑が丘で1時間134mm観測**
12	**15:25～15:48**	**気象庁**	**記録的短時間大雨情報を連続発表（目黒区・大田区・品川区・港区で100～120mm超）**
13	**15:30頃**	**大田区**	**呑川流域・田園調布地区などに緊急安全確保（警戒レベル5）発令**
14	**15:30頃**	**品川区**	**立会川氾濫により南大井一丁目・東大井二丁目へ緊急安全確保（警戒レベル5）発令**
15	**15:30頃**	**－**	**立会川、谷沢川などで氾濫・溢水、自由が丘駅周辺・戸越銀座商店街・西小山駅周辺で冠水発生**
16	15:30頃	－	大田区令和島で突風発生、コンテナ倒壊事故発生
17	15:32	気象庁	羽田で最大瞬間風速30.9m/sを観測
18	15:26、16:22	気象庁	東京都竜巻注意情報 第2号・第3号発表
19	17:55～18:05	気象庁・東京都	各河川の氾濫危険情報解除
20	夕方～夜	JR各社・航空各社	鉄道運休・遅延、羽田空港で欠航・遅延、帰宅困難者発生

2. 訓練目的の例（その他、顧客の安全、サプライチェーンとの連携等）

	社員の安全確保	対策本部設置判断	情報共有	事業継続判断	施設・設備保全
能力	• 従業員の安全確認 • 避難・退避判断 • 帰宅抑制・判断 • 来訪者保護	• 情報収集 • 初動判断 • 指揮命令体制の立ち上げ	• 組織内情報共有 • 意思決定伝達 • 情報の一元管理	• 重要業務継続 • 業務縮退 • 優先順位付け	• 浸水対策 • 建物管理 • 設備保護
考えるべき例	• 記録的短時間大雨情報を受けて何をするか • 外出中社員をどう把握するか • 在宅勤務者の安否確認はどう行うか • 地下施設勤務者を避難させる基準は何か • 帰宅させるか社内待機させるか誰が決定するか • 顧客・来訪者がいる場合の対応はどうするか	• どの情報で警戒体制に移行するか • 大雨警報と氾濫危険情報の扱いをどう区別するか • BCP対策本部設置の基準は明確か • 本部長不在時の代行手順はあるか • 夜間・休日ならどうするか • ○○○○ • ○○○○ • ○○○○	• 本社と支社で認識に差が生じないか • 総務・人事・IT・事業部が同じ状況認識を持てるか • 現場情報を誰が集約するか • デマやSNS情報をどう扱うか • 経営層へどの頻度で報告するか • ○○○○ • ○○○○ • ○○○○	• どの業務を継続しどの業務を停止するか • 拠点閉鎖判断の基準は何か • 顧客対応窓口は維持するか • 業務停止による影響額を把握できるか • 代替手段はあるか • ○○○○ • ○○○○ • ○○○○	• 地下設備室の浸水対策は十分か • サーバールームは安全か • 非常用発電機は使えるか • 排水設備・止水板の設置判断は誰が行うか • 入館制限は必要か • ○○○○ • ○○○○ • ○○○○

目標設定はSMARTに！

1：Specific（具体的に）

2：Measurable（測定可能な）

3：Achievable（達成可能な）

4：Related（経営目標に関連した）

5：Time-bound（時間制約がある）

3. 訓練実施（付与状況に対して何を行うか検討）

No.	状況	誰が（部署が）	実施事項	根拠（ねらい）	検証項目
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					

4. 全体発表/ファシリテーターの質問案

制約項目	概要
経験有無	実際に本番や訓練で実施したことがあるか
①スキル・属人	行うためのスキルがない。特定の人以外は使うことができないい
②対応人数・対応時間	対応に必要な人数が確保できないと実施できない。時間を要して、想定時間内で完了しない
③時間帯・天候	天気や時間によっては実施できない
④ IT・　設備依存	特定のシステム・設備が機能しないと実施できない。
⑤施設・拠点依存	その場所が使えないと実施できない
⑥外部依存	特定の取引先や修理先が機能しないと実施できない
⑦その他	一定の想定を超えると実施できない、など

4. 全体発表/全体状況の俯瞰

No.	状況	対策本部	A事業部	B事業部	事業部	課題
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						

5. 評価

評価シート

訓練名：＿＿＿＿＿＿＿＿

評価者：＿＿＿＿＿＿＿＿

評価対象班：＿＿＿＿＿＿

評価		定義
A	達成	期待された行動を適切なタイミングで実施できた
B	概ね達成	実施できたが改善余地がある
C	一部達成	一部実施したが重要な課題がある
D	未達成	実施できなかった
N/A	該当なし	今回のシナリオでは評価対象外

【社員の安全確保】

能力	評価観点	評価	観察事項・コメント
従業員の安全確認	安否確認開始タイミングは適切か		
従業員の安全確認	安否確認対象を把握できたか		
避難・退避判断	避難が必要な対象者を特定できたか		
避難・退避判断	避難判断の基準が明確だったか		
帰宅抑制・判断	帰宅・待機判断を実施できたか		
帰宅抑制・判断	交通障害を考慮できたか		
来訪者保護	来訪者の安全確保を検討できたか		
来訪者保護	来訪者への情報提供を実施できたか		

良かった点：

改善点：

【対策本部設置判断】

能力	評価観点	評価	観察事項・コメント
情報収集	気象情報を適切に収集できたか		
情報収集	必要な情報源を活用できたか		
初動判断	対策本部設置を適切なタイミングで判断できたか		
初動判断	設置判断の根拠を説明できたか		
指揮命令体制	責任者を明確にできたか		
指揮命令体制	代行体制を考慮できたか		

良かった点：

改善点：

【情報共有】

能力	評価観点	評価	観察事項・コメント
組織内情報共有	関係部署へ適時共有できたか		
組織内情報共有	重要情報の漏れがなかったか		
意思決定伝達	決定事項が組織へ伝達されたか		
意思決定伝達	伝達経路が明確だったか		
情報の一元管理	情報集約担当を明確にできたか		
情報の一元管理	情報の重複・錯綜を防げたか		

良かった点：

改善点：

【事業継続判断】

能力	評価観点	評価	観察事項・コメント
需要業務継続	重要業務を特定できたか		
重要業務継続	継続方法を検討できたか		
業務縮退	停止・縮退対象を判断できたか		
業務縮退	縮退基準は明確だったか		
優先順位付け	優先順位を適切に設定できたか		
優先順位付け	経営影響を考慮できたか		

良かった点：

改善点：

【施設・設備保全】

能力	評価観点	評価	観察事項・コメント
浸水対策	浸水リスクを把握できたか		
浸水対策	止水・排水対策を検討できたか		
建物管理	建物被害の確認手順を理解していたか		
建物管理	立入制限等を判断できたか		
設備保護	重要設備を特定できたか		
設備保護	設備保護措置を検討できたか		
設備保護	サーバー・電源設備への影響を評価できたか		

良かった点：

改善点：

6. 改善計画

課題	改善策	担当部門（責任者）	期限

注意

本資料は、2025年9月11日に東京都で発生した記録的な短時間大雨を題材とし、企業のBCPの有効性を検証するとともに、今後の見直し・改善につなげることを目的とした机上訓練案です。参加者は、実際に発表された気象情報、避難情報、被害情報等を時系列で追いながら、その時点で「誰が・何を・なぜ実施すべきか」を検討します。訓練は、仮に、社員の安全確保、対策本部設置判断、情報共有、事業継続判断、施設・設備保全の各能力を評価し、課題抽出と改善計画の策定を行えるよう設定しています。なお、企業の所在地、事業内容、施設構成、組織体制等によって想定されるリスクや必要な対応は異なるため、各社の前提条件や被害想定を設定した上で活用してください。

出典・参考資料

・東京管区気象台「令和7年9月11日の大雨に関する東京都気象速報」

・気象庁公表資料及び関連防災気象情報

・各自治体、報道機関等が公表した2025年9月11日の豪雨関連情報

免責事項

本資料は訓練教材として作成したものであり、実際の災害対応を保証するものではありません。訓練の実施および本資料の利用により生じた損害等について、リスク対策.comは一切の責任を負いません。利用者の責任において内容を確認し、自社の実情に応じて適宜修正・活用してください。